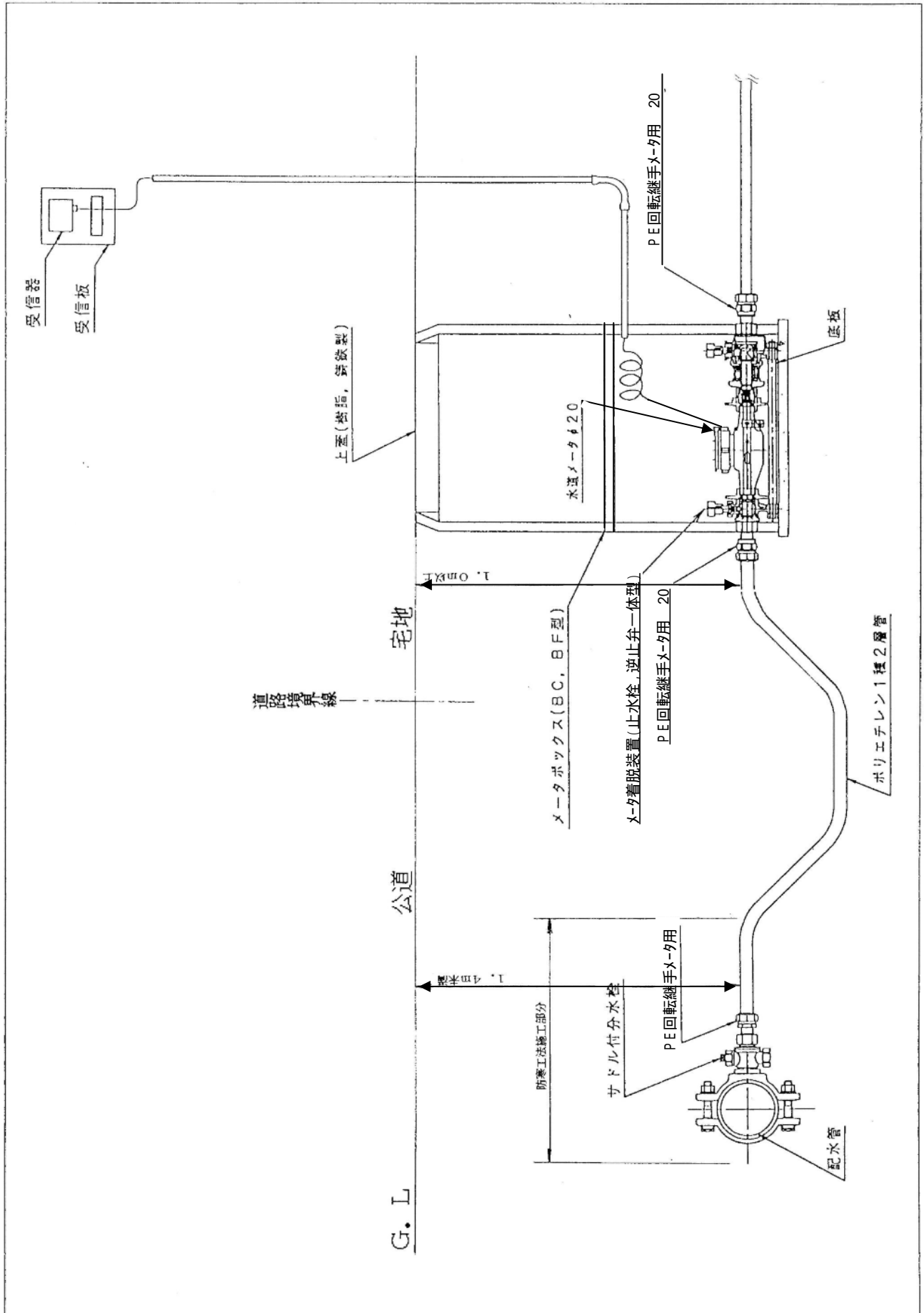
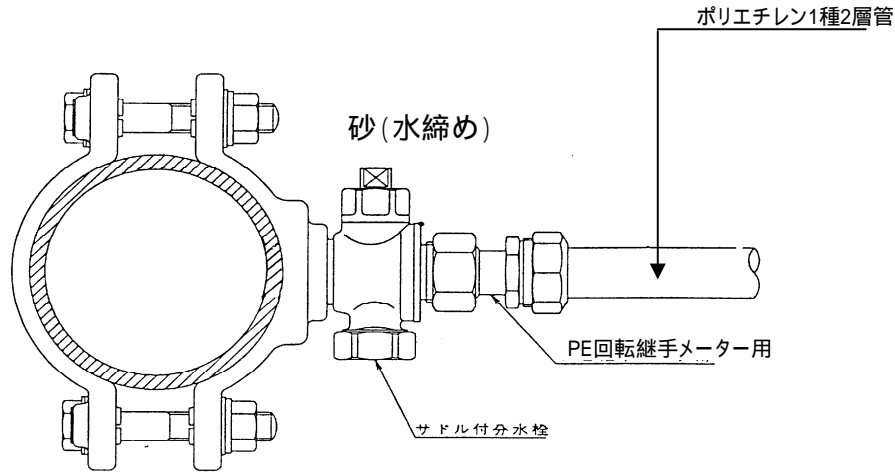


22. 標準図

22.1 給水装置工事施工標準図



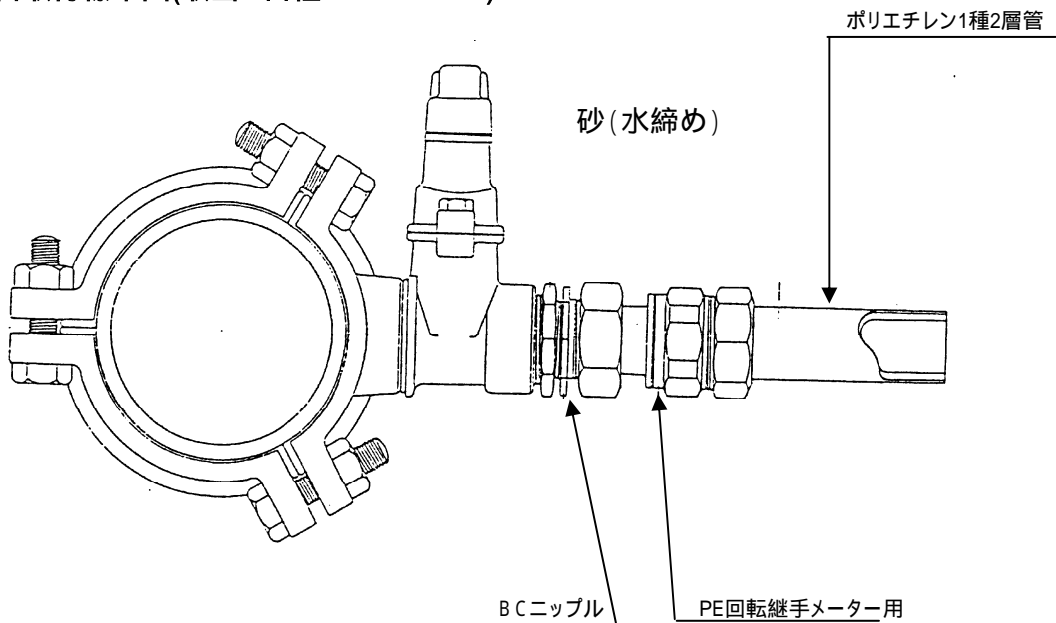
22.2 分水栓取付標準図(取出し口径 20～ 50mm)



- 1 防食用ポリエチレンスリーブを取り付けること。
- 2 配水管が鋳鉄管の場合は、分水コアを取り付けること。
- 3 取出し口径 40・50mmは配水管が鋳鉄管の場合に限る。
- 4 配水管が内面エポキシ樹脂粉体塗装の鋳鉄管にあっては、専用の電動式せん孔ドリルを使用すること。

1. 分水栓は取付前に点検を行うこと。
2. 給水管の接続は、PE回転継手メーター用を使用すること。
3. 配水管の埋設深度が規定深度未満となるときは防寒工法を施すこと。
4. 分岐部周囲は十分水締めを行った砂による埋め戻しを行い、配・給水管を保護すること。
5. 道路の横断配管は、分岐点より直角に布設し、必要に応じて被覆管を用いて給水管を布設すること。

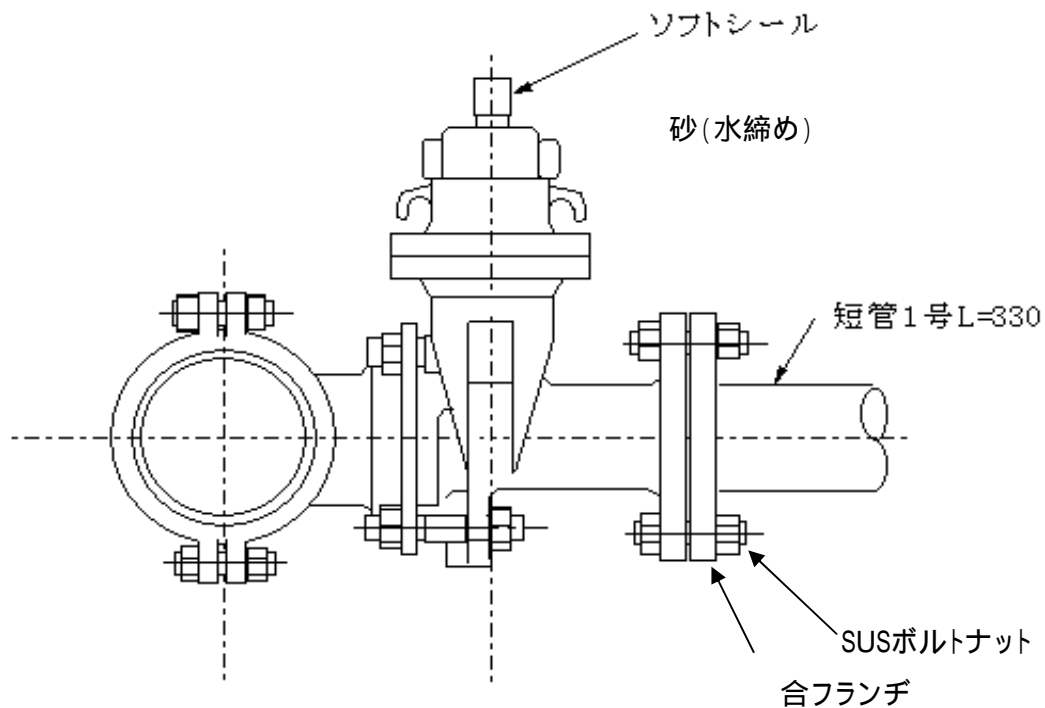
22.3 割T字管取付標準図(取出し口径 40・ 50mm)



- 1 防食用ポリエチレンスリーブを取り付けること。
- 2 配水管が内面エポキシ樹脂粉体塗装の鋳鉄管にあっては、専用の電動式せん孔ドリルを使用すること。

1. 割T字管は取付前に点検を行うこと。
2. 給水管の接続は、PE回転継手メーター用を使用すること。
3. 配水管の埋設深度が規定深度未満となるときは防寒工法を施すこと。
4. 分岐部周囲は十分水締めを行った砂による埋め戻しを行い、配・給水管を保護すること。
5. 道路の横断配管は、分岐点より直角に布設し、必要に応じて被覆管を用いて給水管を布設すること。
6. 割T字管取付後、取付の良否についてせん孔前に分岐孔から配水管の材質を考慮した水圧試験(0.75Mpa)を行い確認すること。

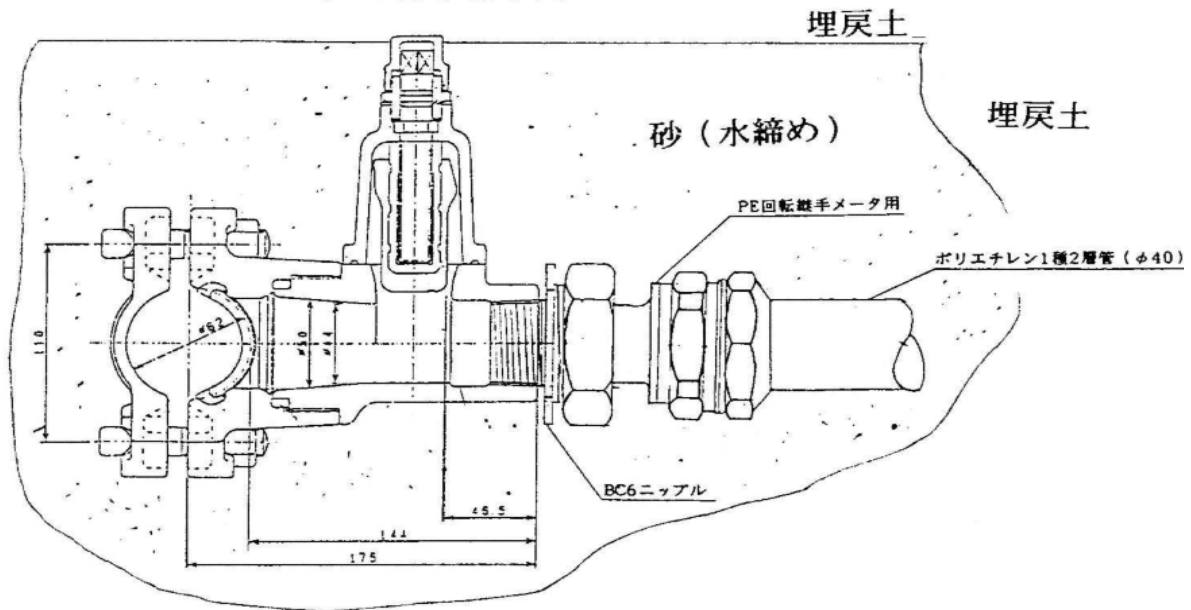
22.4 割T字管取付標準図(取出し口径 75mm以上)



- 1 防食用ポリエチレンスリーブを取り付けること。
 - 2 配水管が内面エポキシ樹脂粉体塗装の铸铁管にあっては、専用の電動式せん孔ドリルを使用すること。
-
1. 割T字管は取付前に点検を行うこと。
 2. 配水管の埋設深度が規定深度未満となるときは防寒工法を施すこと。
 3. 分岐部周囲は十分水締めを行った砂による埋め戻しを行い、配・給水管を保護すること。
 4. 道路の横断配管は、分岐点より直角に布設し、必要に応じて被覆管を用いて給水管を布設すること。
 5. 割T字管取付後、取付の良否についてせん孔前に分岐孔から配水管の材質を考慮した水圧試験(0.75Mpa)を行い確認すること。
 6. 分岐部に設置のソフトシール弁を止水用具として使用することはできない。
 7. 止水用具として使用する場合は、F型割丁字管に水道用铸铁仕切弁(ショート)を設置し、止水用具とする。

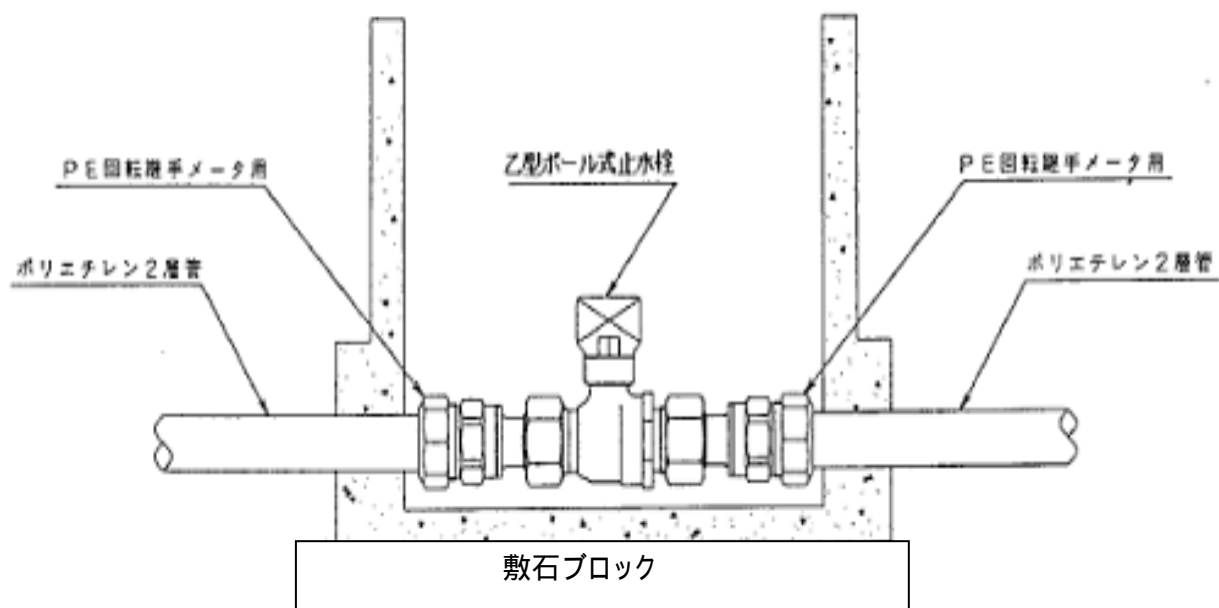
22.5 割T字管取付標準図(配水管 50mmからの取出し)

{配水管VP 50mmからの取出し口径 25・40, 配水管PE 50mmからの取出し口径 40mm}



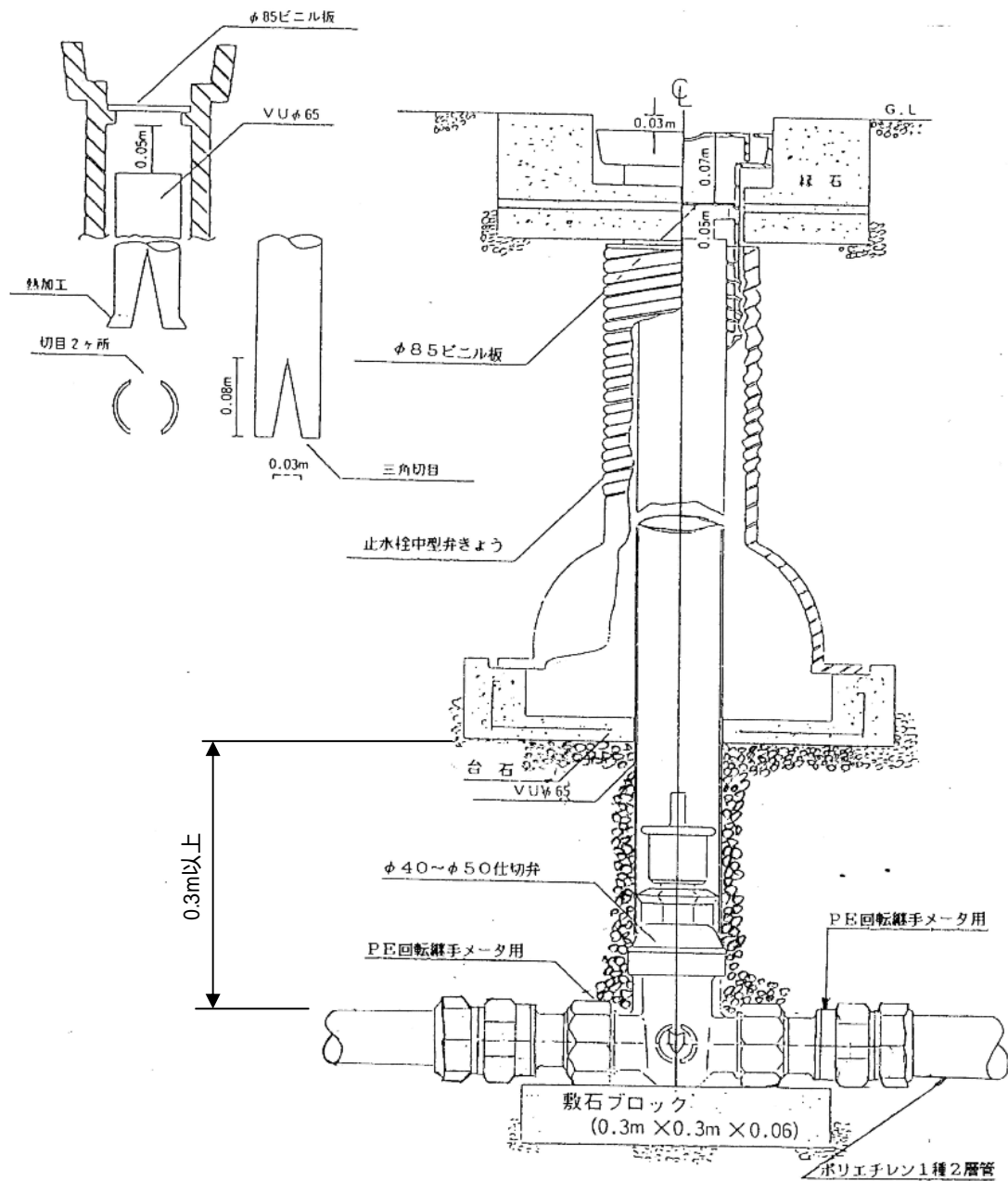
- 1 防食用ポリエチレンスリーブを取り付けること。
- 2 配水管VP 50mmから 25mmを取り出す場合は、割丁字管を使用すること。
1. 割T字管は取付前に点検を行うこと。
2. 給水管の接続は、PE回転継手メーター用を使用すること。
3. 配水管の埋設深度が規定深度未満となるときは防寒工法を施すこと。
4. 分岐部周囲は十分水締めを行った砂による埋め戻しを行い、配・給水管を保護すること。
5. 道路の横断配管は、分岐点より直角に布設し、必要に応じて被覆管を用いて給水管を布設すること。
6. 割T字管取付後、取付の良否についてせん孔前に分岐孔から配水管の材質を考慮した水圧試験(0.75Mpa)を行い確認すること。

22.6 止水栓取付け標準図(13 ~ 25mm)



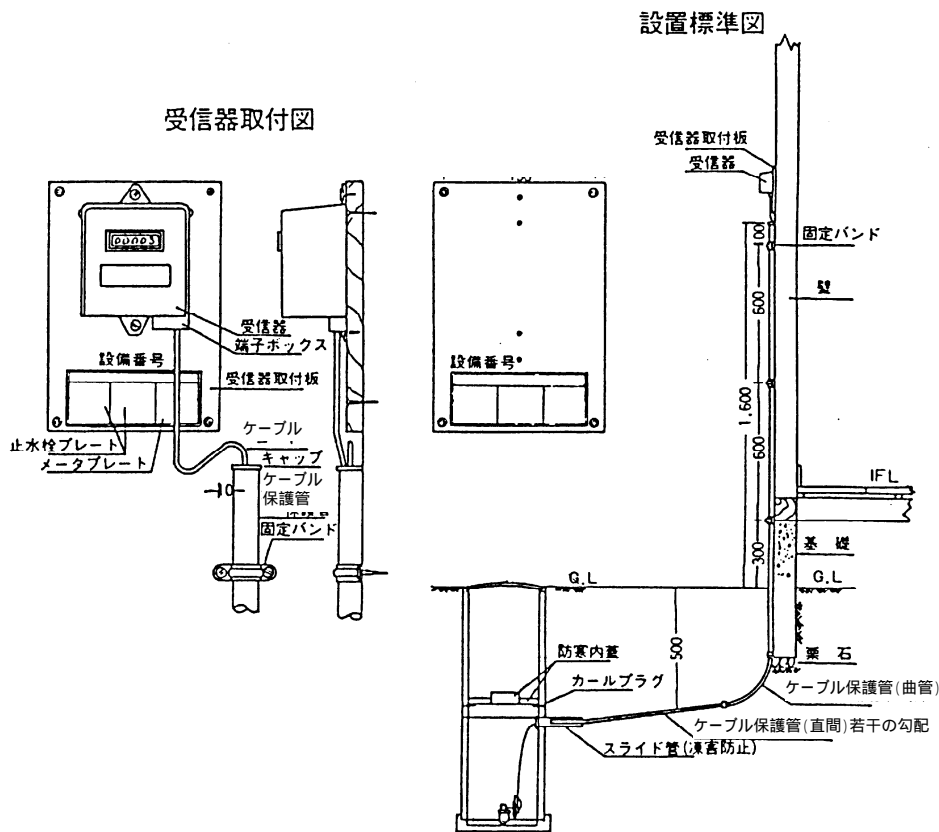
1. 止水栓は水平に取り付けること。
2. 敷石ブロックは、沈下を防止するため突き固めを行った後設置すること。
3. 給水管との接続は、PE回転継手メーター用を使用すること。
4. きょう周囲は、30cmごとに充分突き固めを行うこと。

22.7 仕切弁及び中型弁きょう取付け標準図(40・50mm)



1. 仕切弁は水平に取り付けること。
2. 敷石ブロックは、沈下を防止するため突き固めを行った後設置すること。
3. 給水管との接続は、PE回転継手メータ用を使用すること。
4. きょう周囲は、30cmごとに充分突き固めを行うこと。
5. 開閉操作を確保するため、また土砂等の流入を防止するため、VU管 65及び 85ビニル板を使用すること。
6. 車両等の荷重がかかるおそれがある場所に仕切弁を設置するときは、きょうを縁石で保護すること。

22.8 水道メーター配置標準図(受信器板方式)



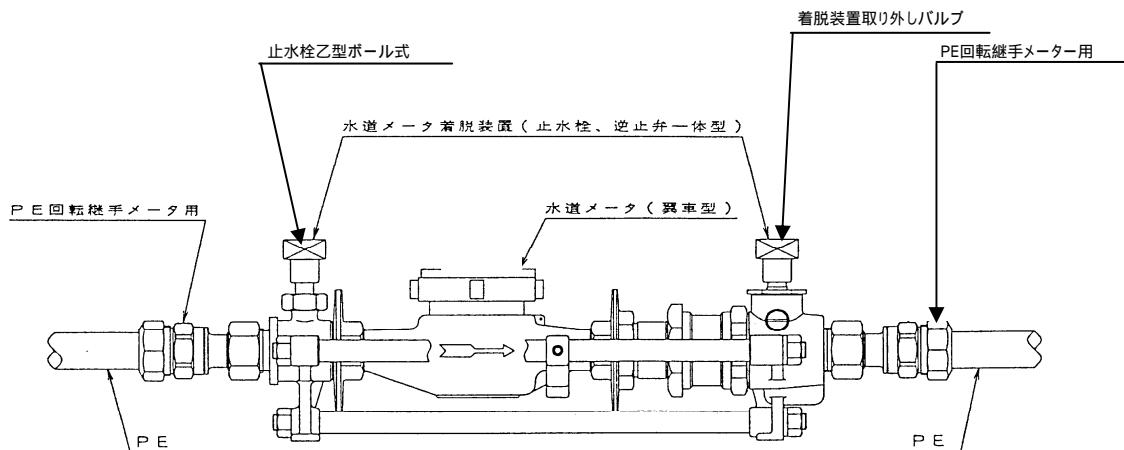
受信器板取付位置

- ・道路に面し検針しやすい場所
- ・落雪がなく検針しやすい場所
- ・物置のかげ, または内部でない場所

1. 付属品規格

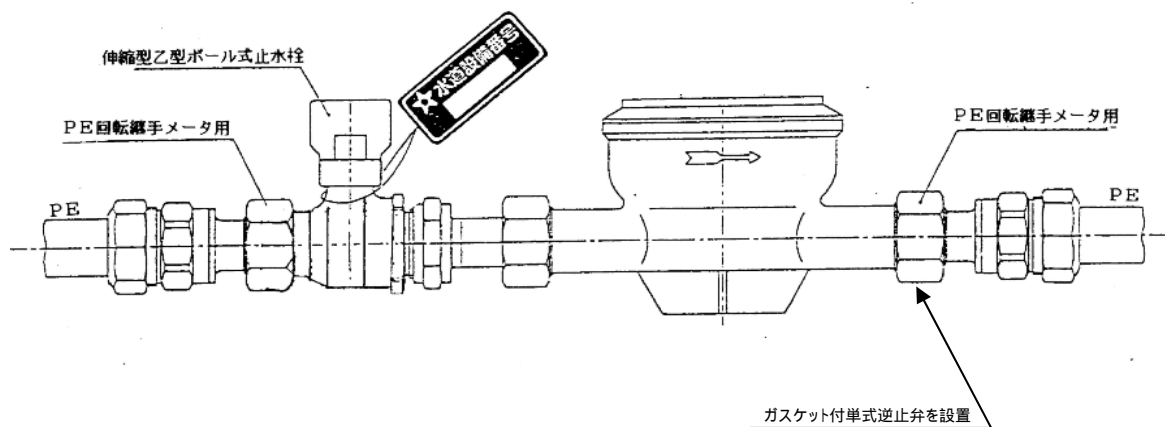
- 受信器板……………ABS樹脂製 256mm×151mm×13mm
- 木ネジ(受信器用)…………メーカー付属品
- 木ネジ(受信器板用)…………3mm×30mm
- 木ネジ(固定バンド用)…………3mm×25mm
- カールプラグ……………樹脂製 4.8mm×25mm
- ケーブル保護管(埋設管)……………硬質ビニル電線管(VE) 22mm
- ケーブル保護管(立上・埋設部)……………合成樹脂製可とう管(PF) 16・22mm
- 固定バンド……………樹脂製 22mm
- スライド管……………塩ビ管(VA) 30mm×200mm
- キャップ……………ゴム製 T=50mm
- 防寒内蓋……………ポリウレタン製 メーカー付属品

22.9 水道メーター取付施工図 (13～25mm) 簡易着脱装置使用時



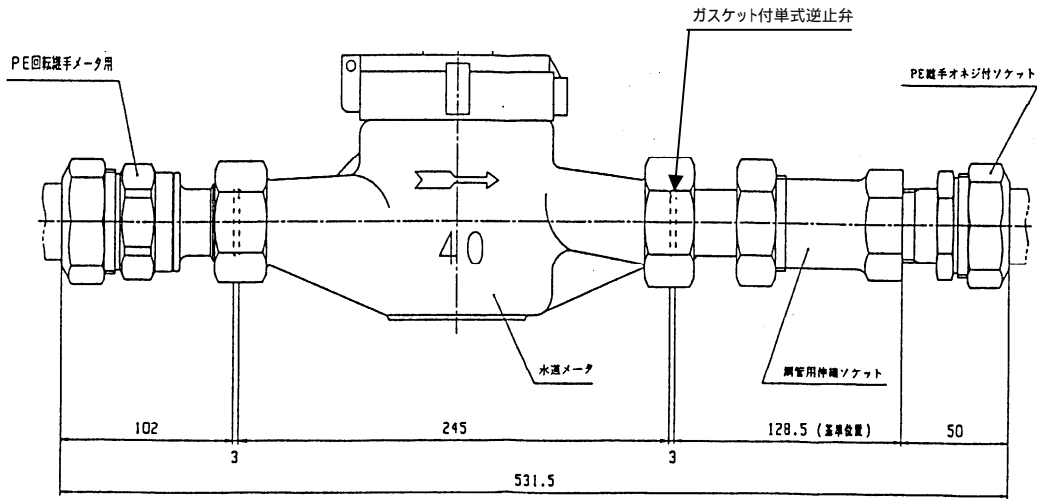
1. 水道メーター及び簡易着脱装置は水平に取り付け、かつ、逆取り付けを行わないこと。
2. 給水管と簡易着脱装置の接続は、上流側は、13mmにあつてはPE回転継手メーター用(径違い)、20mmにあつてはPE回転継手メーター用を使用し、下流側は、13mmにあつてはPE回転継手メーター用(径違い)、20・25mmにあつてはPE回転継手メーター用を使用すること。
3. 水道メーターの取り付けにあつては、十分排泥を行った後設置すること。

L1メーターボックス使用時(13～ 25mm)



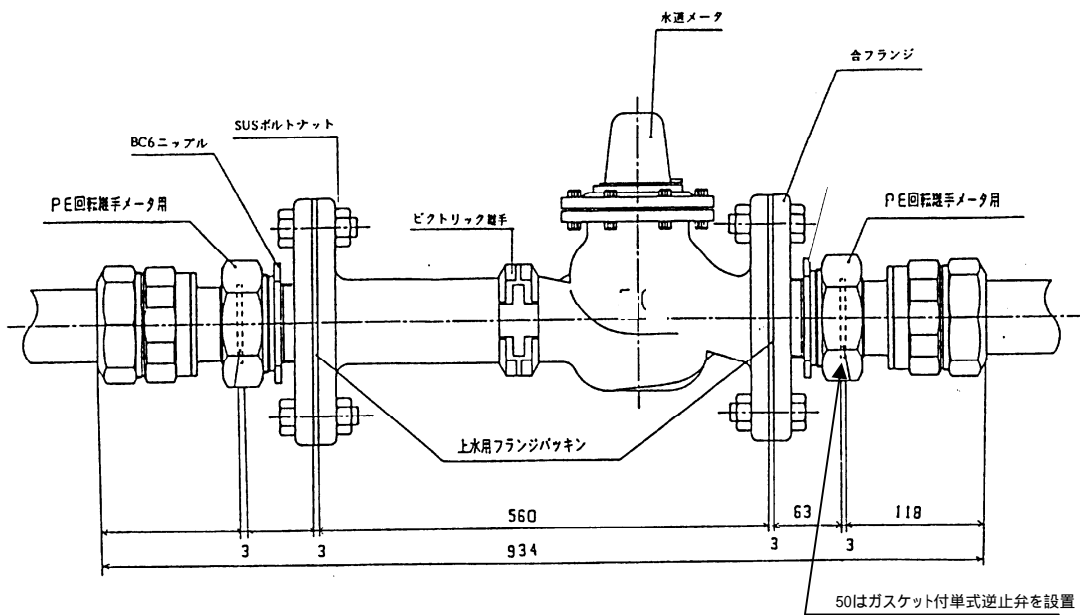
1. 水道メーター及び簡易着脱装置は水平に取り付け、かつ、逆取り付けを行わないこと。
2. 給水管との接続は、上流側は、13mmにあつてはPE回転継手メーター用(径違い)、20mmにあつてはPE回転継手メーター用を使用し、下流側は、13mmにあつてはPE回転継手メーター用(径違い)、20・25mmにあつてはPE回転継手メーター用を使用すること。
3. 水道メーターの取り付けにあつては、十分排泥を行った後設置すること。
4. L1型メーターボックス内に水道メーターを設置するときは、止水栓に水道設備番号プレートを取り付けること。
5. 水道メーター下流側にガスケット付単式逆止弁を設置すること。

22.10 水道メーター取付施工図 (40mm)



1. 水道メーターは水平に取り付け、かつ、逆取り付けを行わないこと。
2. 給水管との接続は、上流側はPE回転継手メーター用を使用し、下流側は鋼管用伸縮ソケット及びPE継手オネジ付ソケットを使用すること。
3. 水道メーターの取り付けにあたっては、十分排泥を行った後設置すること。
4. 水道メーター下流側にガスケット付単式逆止弁を設置すること。

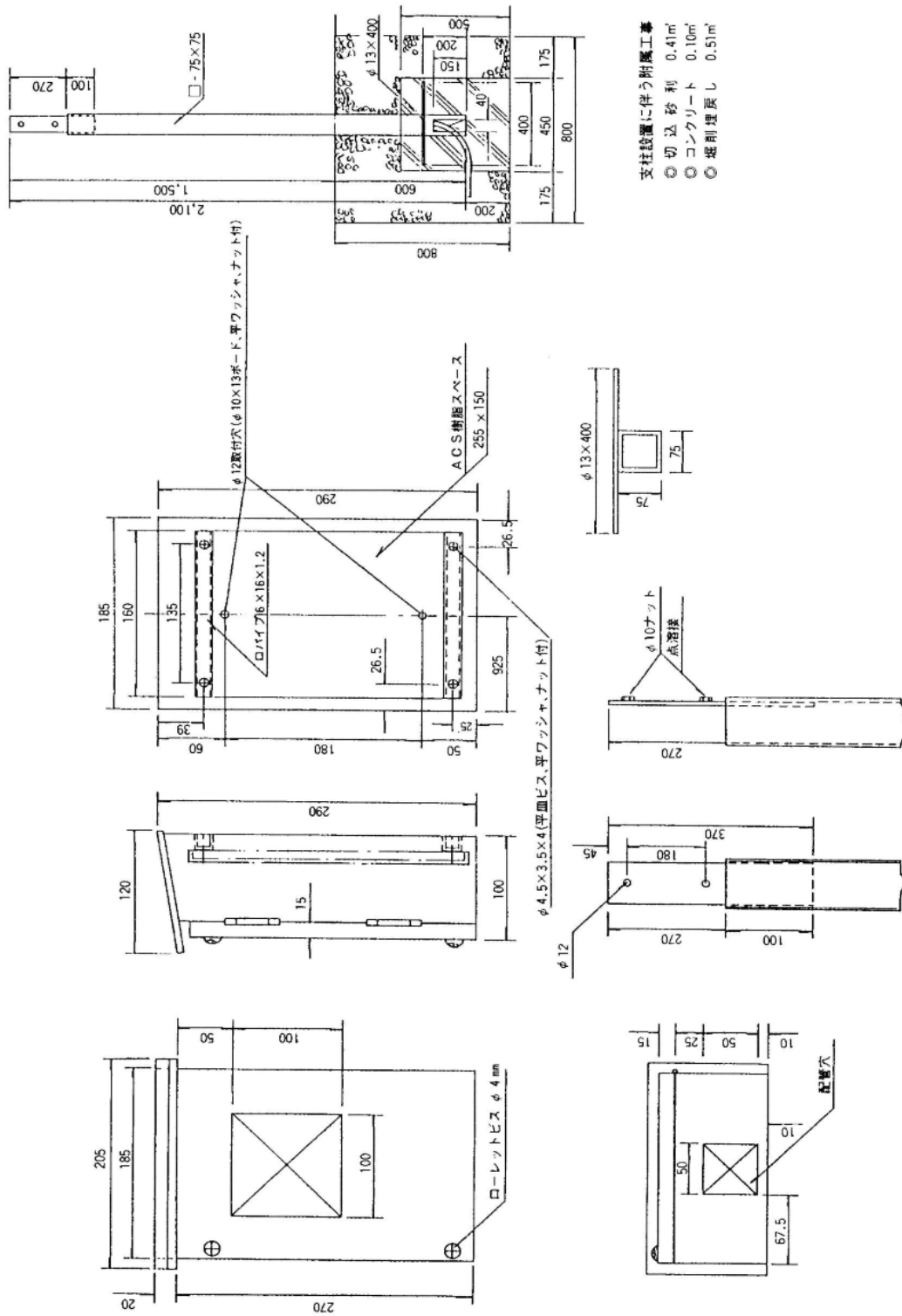
22.11 水道メーター取付施工図 (50mm以上)



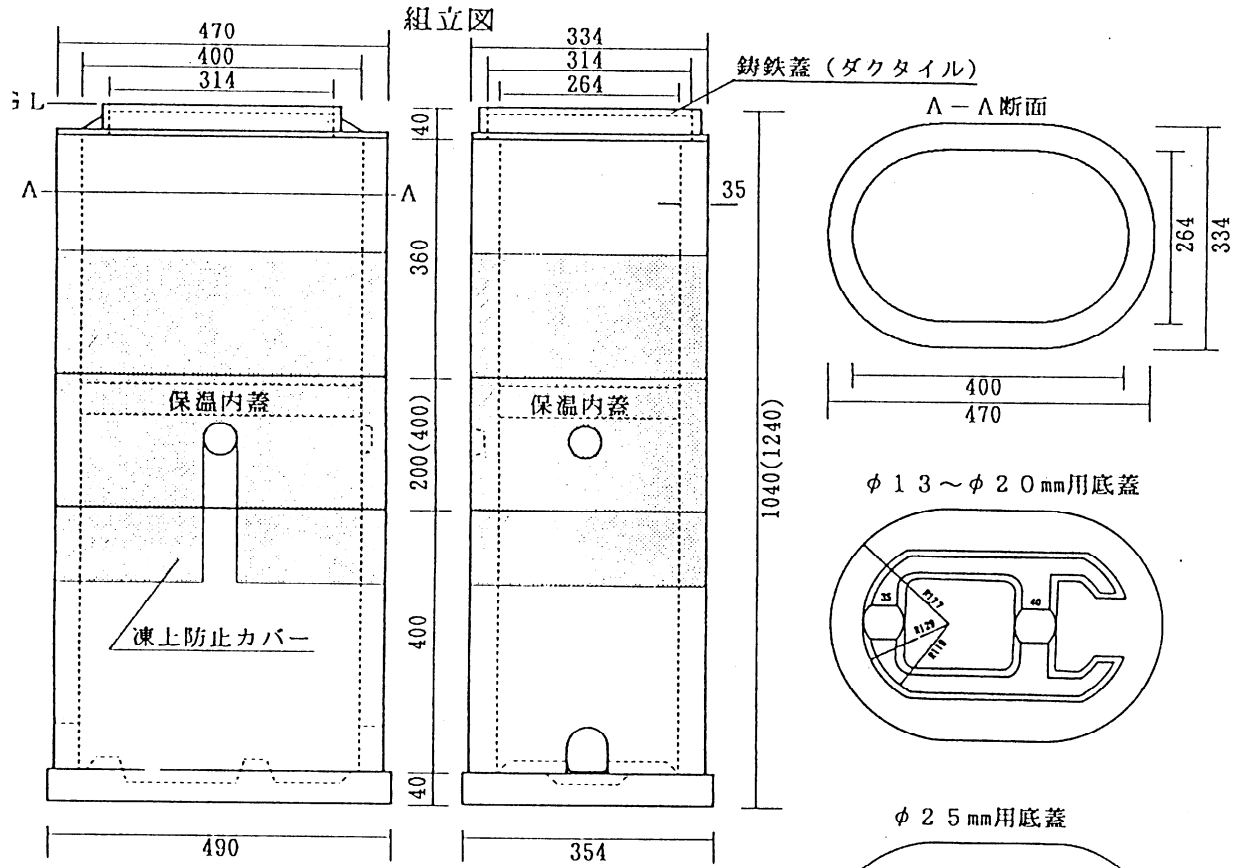
戻り水が極端に過大な場所についてはゲートバルブを取り付ける。

1. 水道メーターは水平に取り付け、かつ、逆取り付けを行わないこと。
2. 給水管の接続は、合フランジ、ニップル、PE回転継手メーター用により行い、フランジ接合はフランジパッキン
3. 水道メーターの取り付けにあたっては、十分排泥を行った後設置すること。
4. 水道メーター下流側に逆止弁を設置すること。なお、50mmについてはガスケット付単式逆止弁とする。
5. メーター取替時に戻り水が極端に多くなると予想される給水装置には、その対策としてゲートバルブを取り付けること。

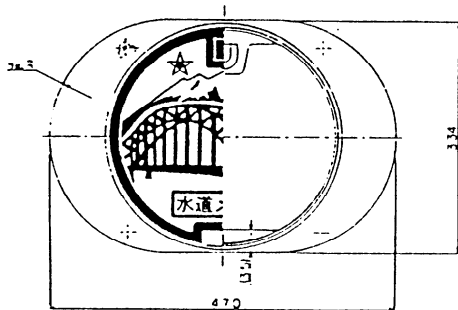
22.12 水道メーター格納ボックス施工標準図



22.13 水道メーターボックスBC型



鋳鉄蓋. 受枠 (ダクタイル)



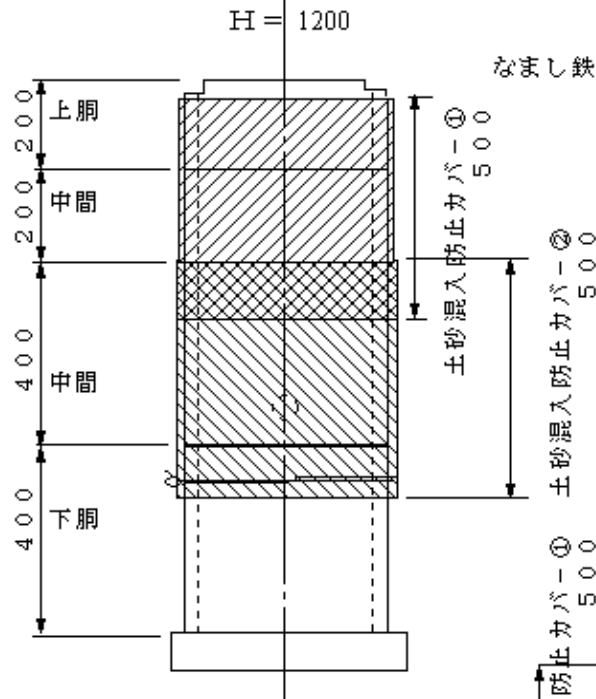
蓋のデザイン



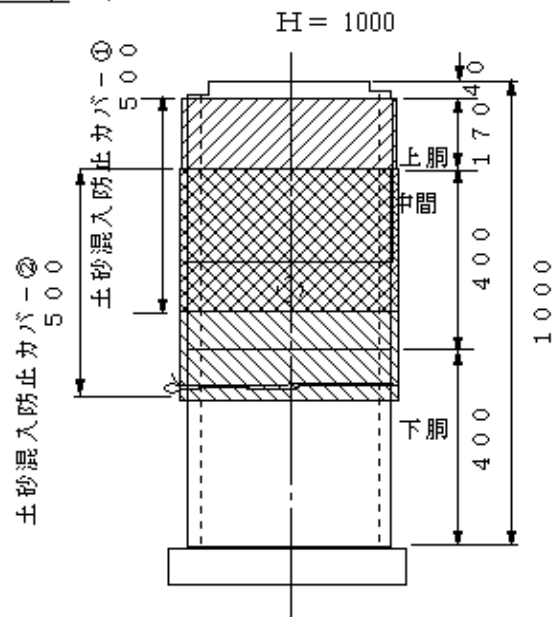
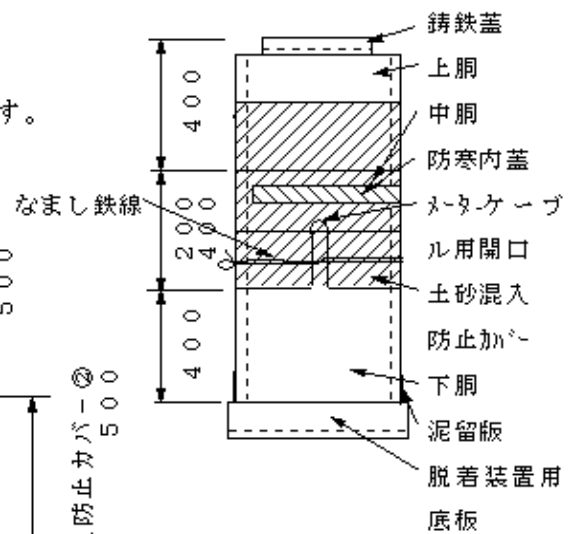
22.14 水道メーターボックス土砂混入防止カバー

φ 13mm ~ φ 25mm

上部はH=200,
設置後の高さ調整が簡単になります。



旧タイプ組立側面図



改良部分

上胴を H=200 とする。

土砂混入防止カバー

を受枠下まで取付ける

在庫が切れしだい H=850

受信器の開口は現場で

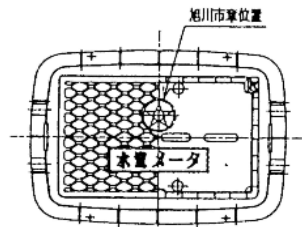
設置後の微調整は上部 H=200 を引き抜き

調整高さわずかな場合はモルタル目地

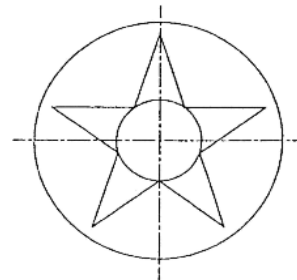
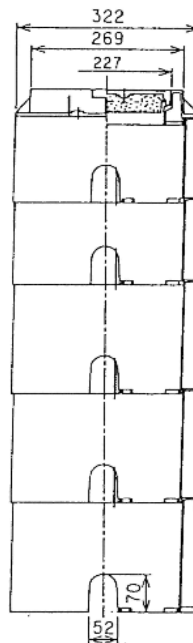
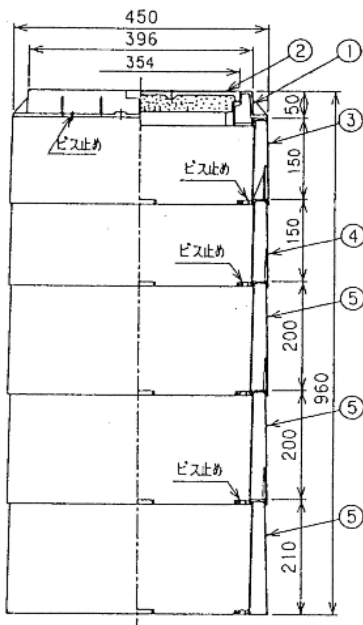
調整高さが 5cm 以上の場合は中間柵を入れ

上部を取り付ける

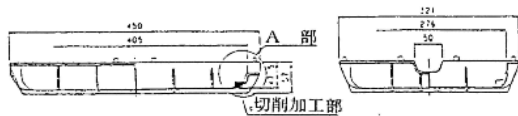
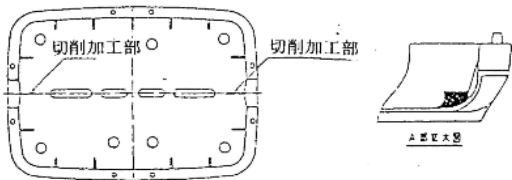
22.15 水道メーターボックスBF型(13~20mm)



番号	部品名称	材質	数量	備考
1	枠	ABS	1	
2	耐摩蓋	FRP	1	ウレタン入り、ブラック
3	本体 150H	ABS	1	
4	調整弁150H	ABS	1	
5	調整弁200H	ABS	3	



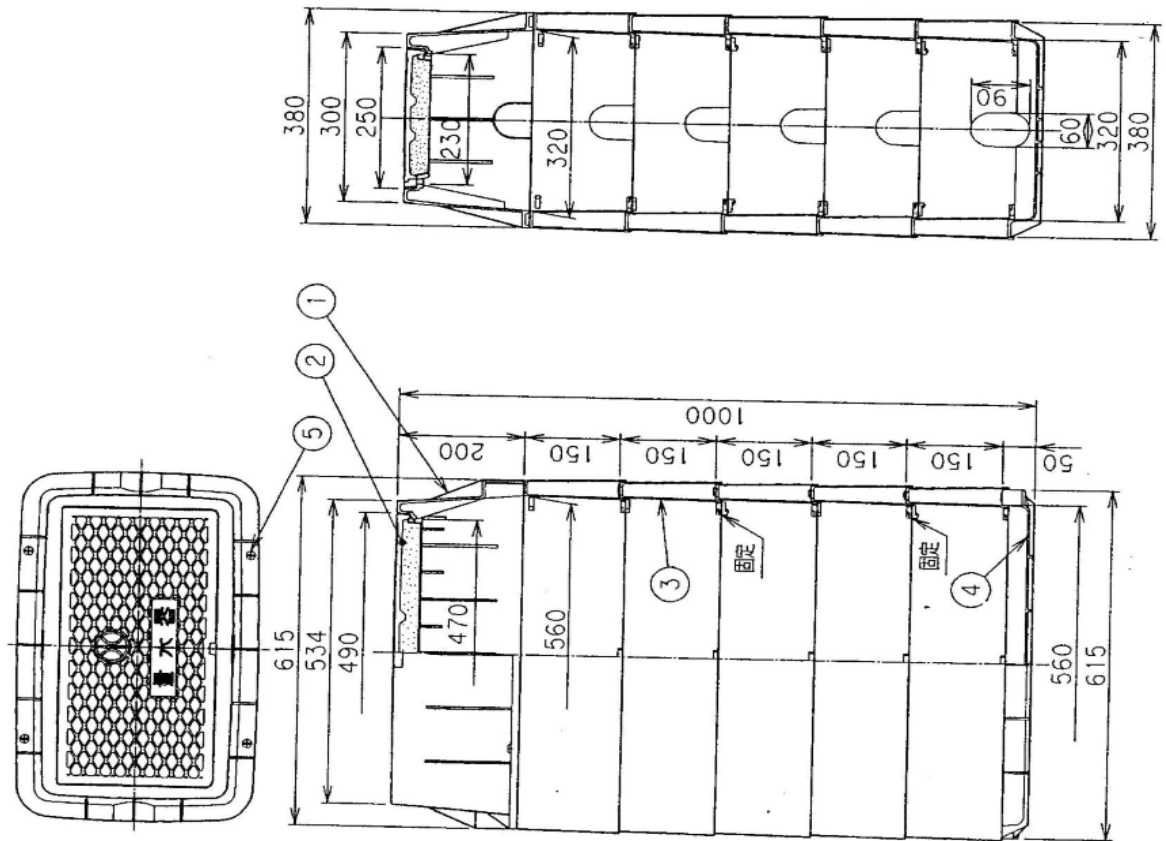
旭川市章



部品名称	材質	数量	備考
底板	ABS	1	

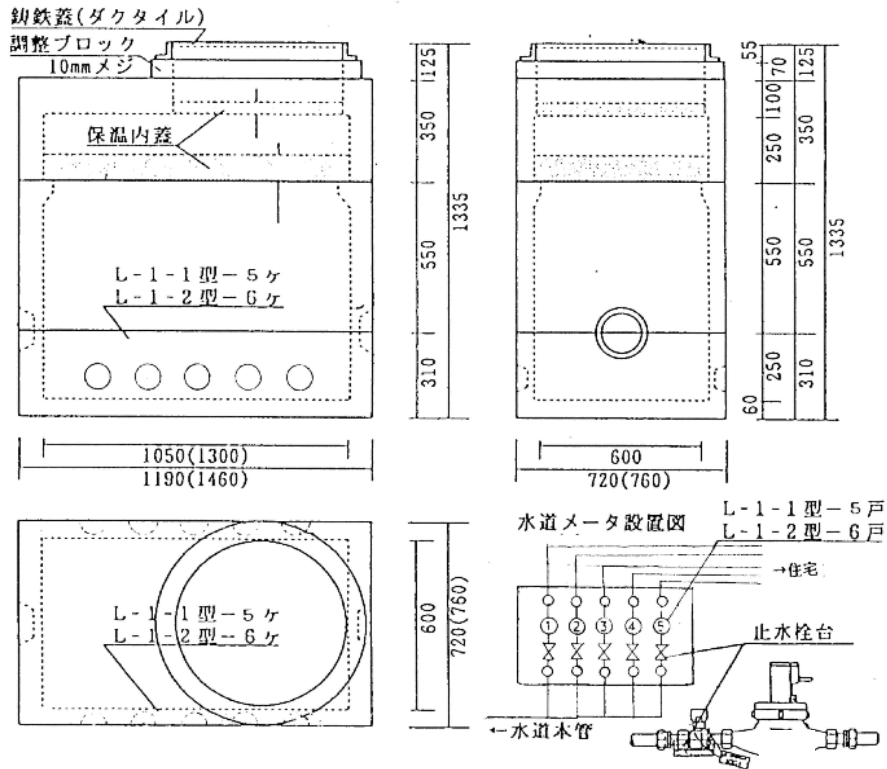
22.16 水道メーターボックスBF型(25mm)

番号	部品名称	材質	数量	備考
1	本体	ABS	1	
2	耐震蓋	FRP	1	ウレタン入り
3	調整片	ABS	5	150H
4	底板	ABS	1	
5	ロック	PP	4	

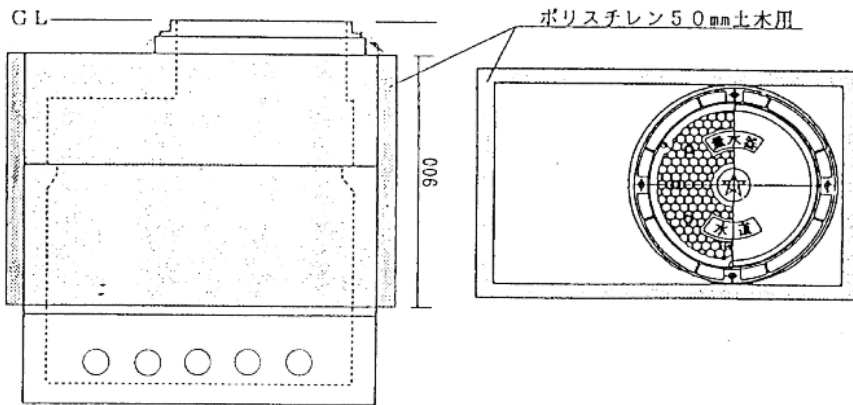


22.17 水道メーターボックスL1-1型, L1-2型

5戸用 L-1-1型
 6戸用 L-1-2型(カッコ内寸法)

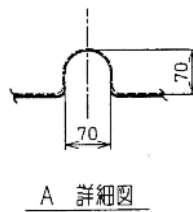
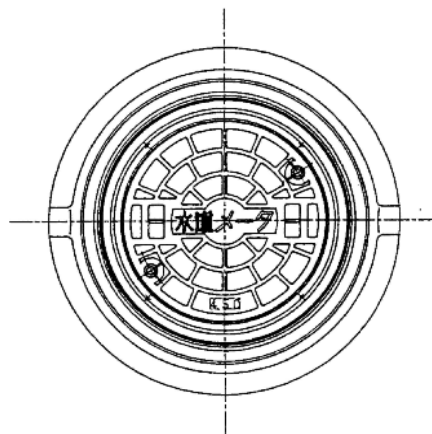
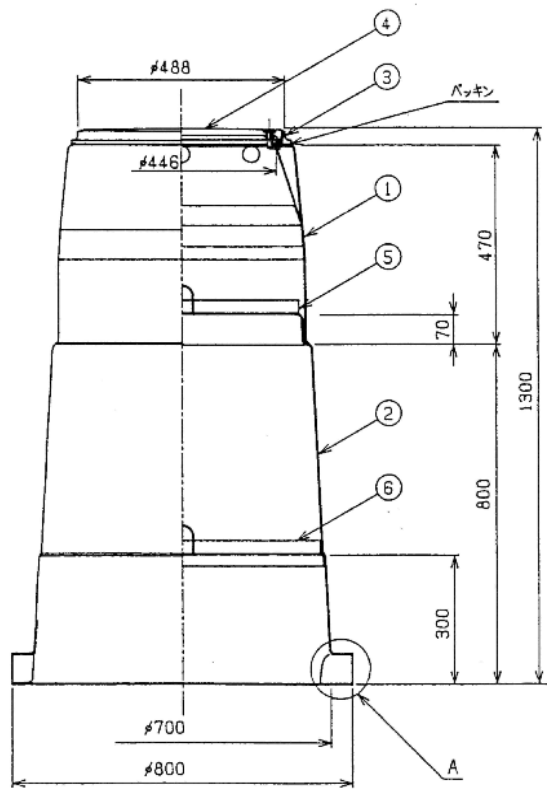


外部保温材取付け図 L-1-1型, 2型

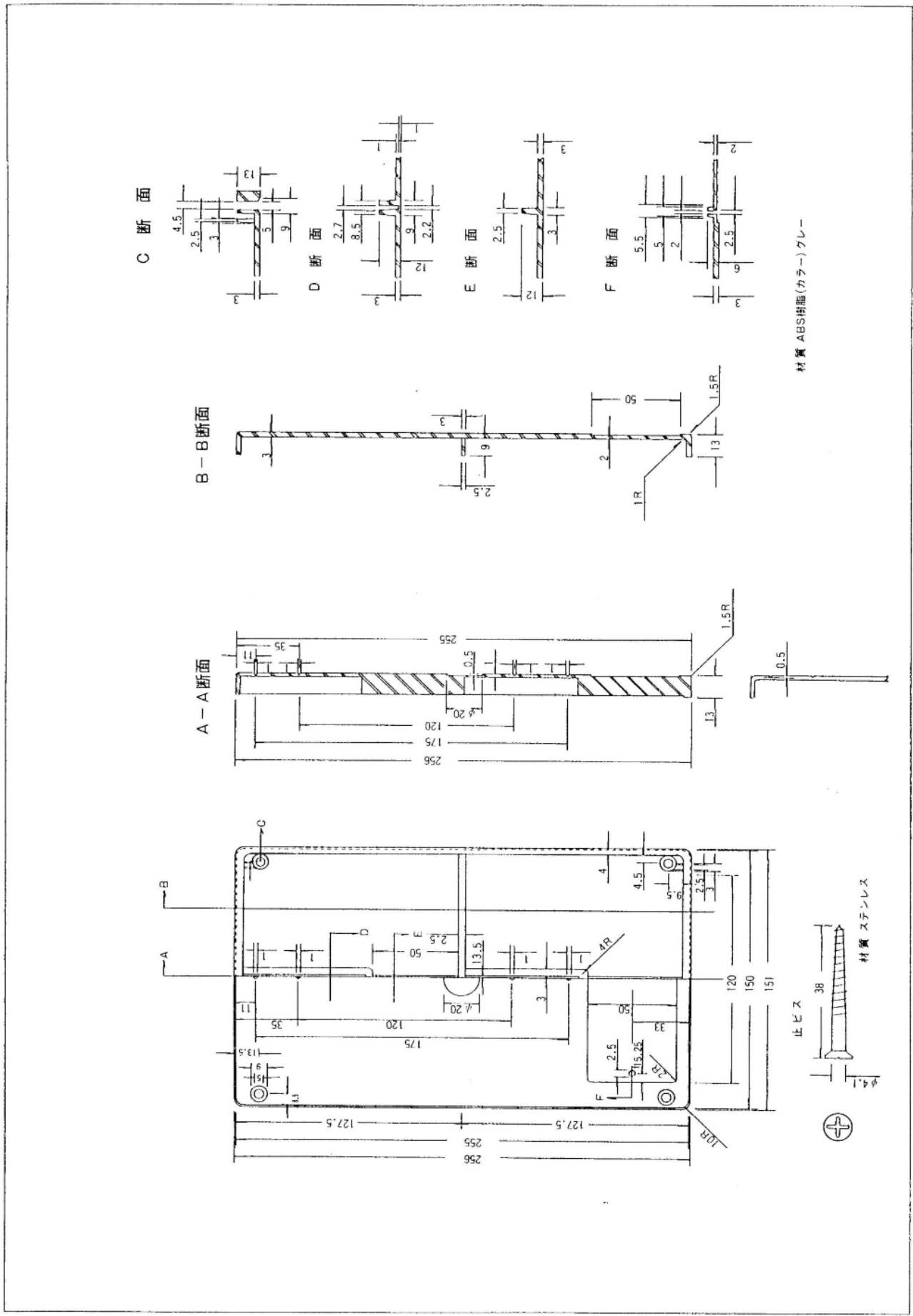


22.18 水道メーター大型メーターボックス(40mm)

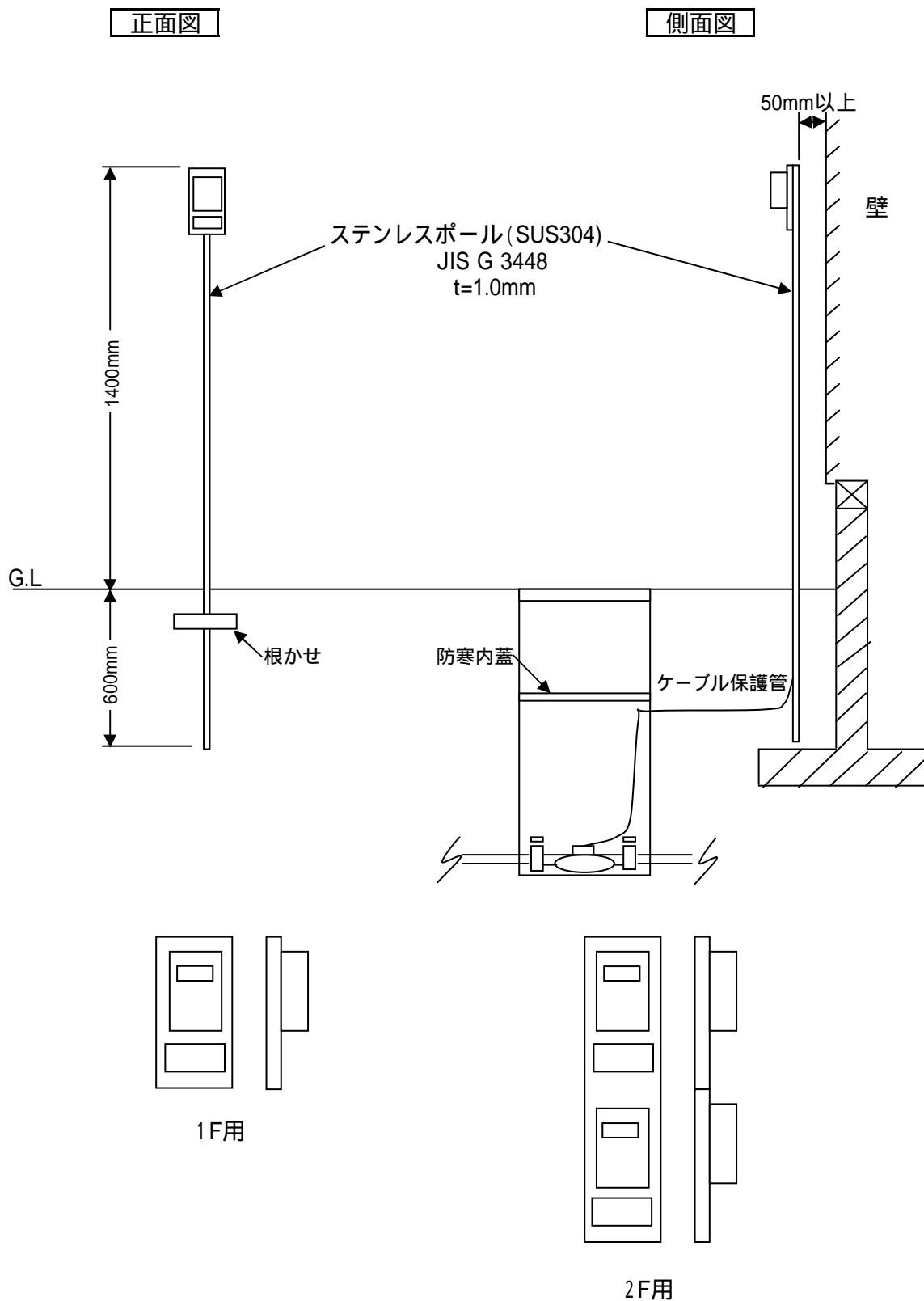
番号	部品名称	材質	数量	備考
1	本体上部	F R P	1	
2	本体下部	F R P	1	
3	枠	A B S	1	
4	蓋	R E C	1	
5	中蓋 A	樹脂PEシート	1	
6	中蓋 B	樹脂PEシート	1	



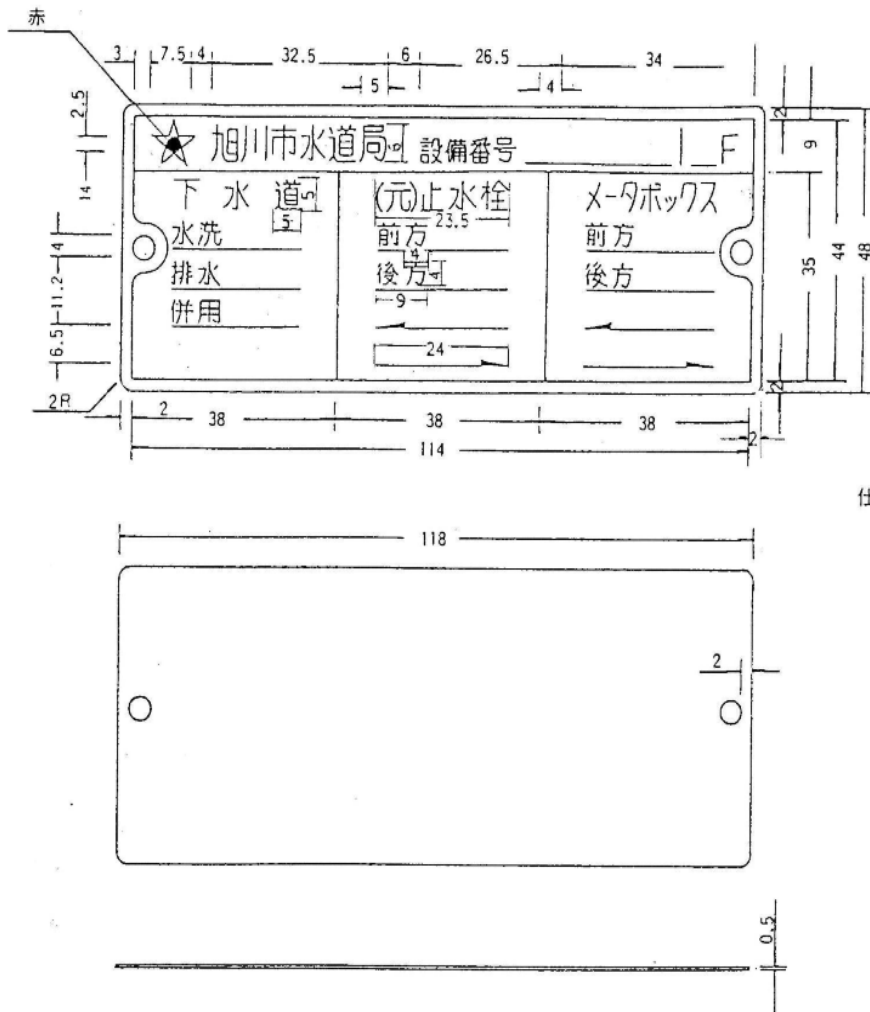
22.19 水道メーター受信器板



22.20 水道メーター受信器ポール

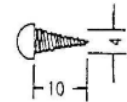


22.21 水道メーター受信器板プレート



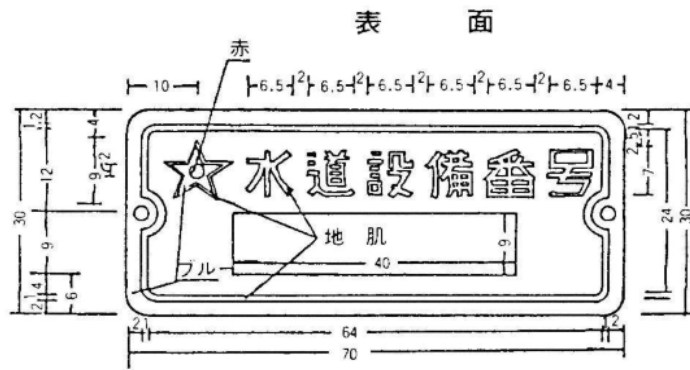
仕様 アルミ板厚 0.5mm
 スクリーン印刷 2色刷(赤/黒)
 表面メラミンクリアー焼付

止ビス(4mm)



⊕ 材質 ステンレス

22.22 水道設備番号プレート



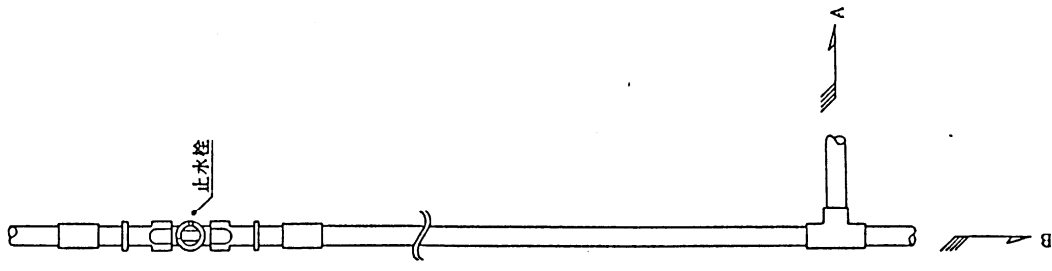
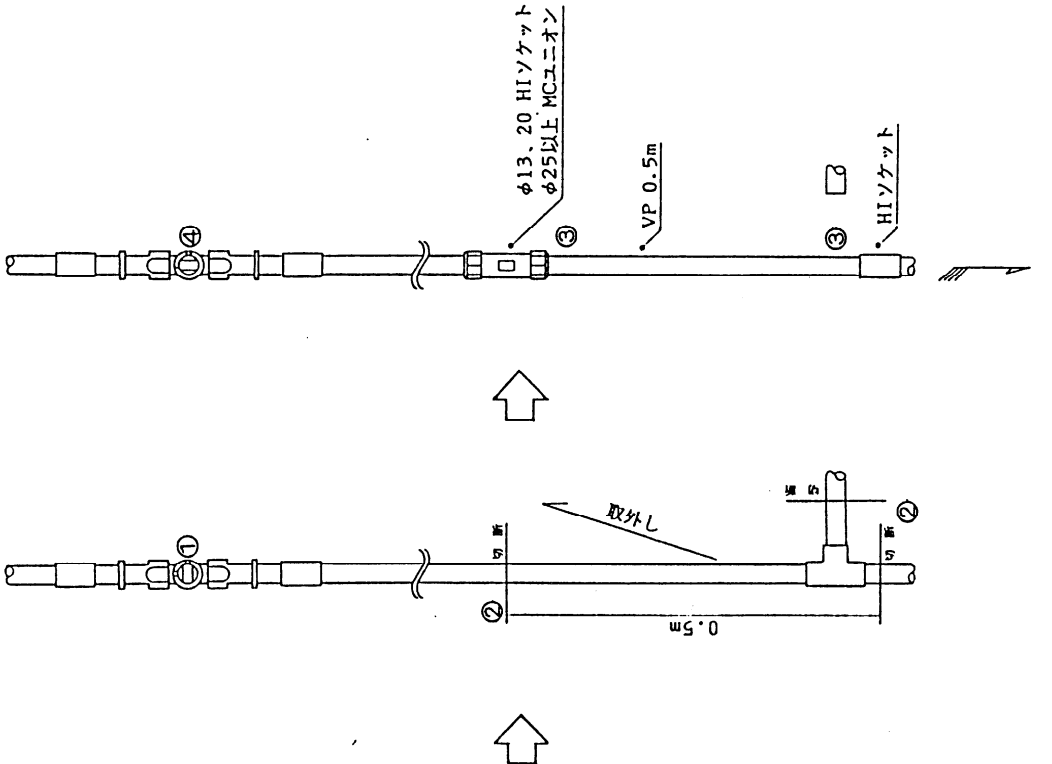
	撤去前	撤去後	作業手順
分水栓撤去	<p>分水栓 配水本管</p>	<p>④ ポリアイルム</p>	<p>① 分水栓を閉栓する。 ② 分水栓の接続継手を取外す。 ③ 分水栓用キャップ(806)を取付ける。 ④ 分水栓にポリフィルムを巻く。</p>
割丁字管撤去 50	<p>割丁字管 配水本管</p>	<p>④ ポリアイルム</p>	<p>① 割丁字管を閉栓する。 ② 割丁字管の接続継手を取外す。 ③ 割丁字管用プラグ(F60)を取付ける。 ④ 割丁字管にポリフィルムを巻く。</p>
割丁字管撤去 75 以上	<p>割丁字管 配水本管</p>	<p>フランジ蓋 ④</p>	<p>① 割丁字管を閉栓する。 ② 割丁字管接続の管を切断する。 ③ 割丁字管接続のボルトナットを取外し、管を取外しする。(左図参照) ④ 割丁字管にフランジ蓋(蓋 F60、合金SAボルト、ゴム板)を取付ける。</p>

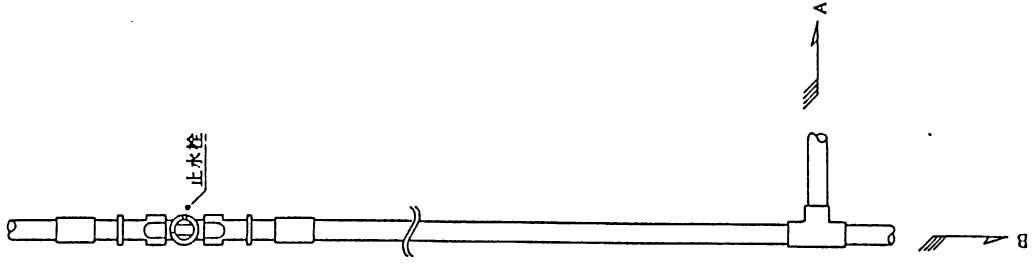
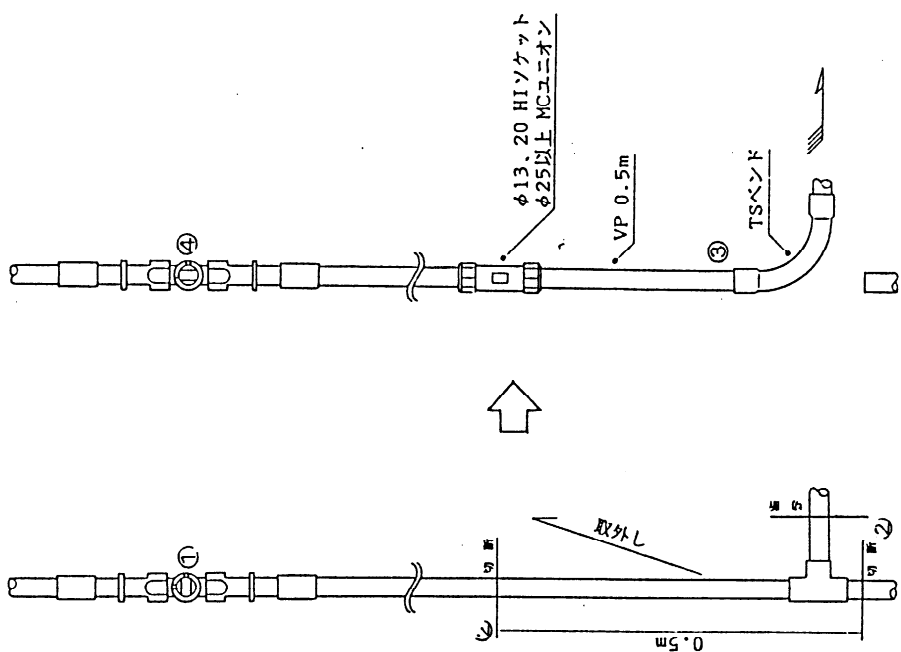
は通水可能を示す。

注) 上記の作業で閉栓不能、老朽化しているものは監督員と協議すること。

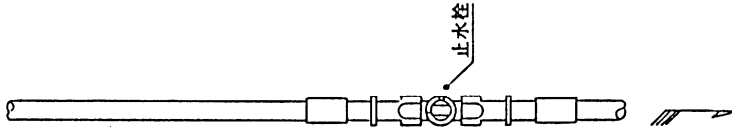
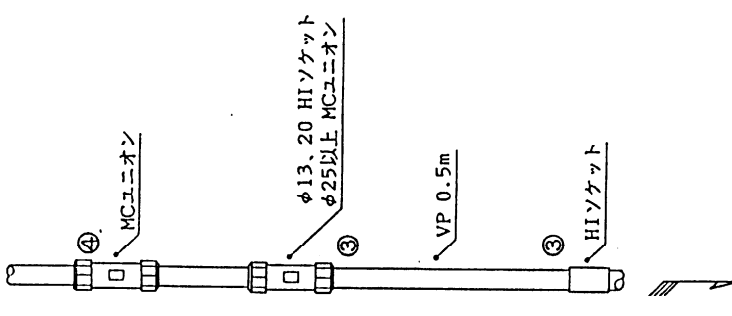
	撤去前	撤去後	作業手順
<p>ヤ、ニ、ロ、H、K</p>		<p>配水本管管種：使用材料 CIP、DIP：ヤノジョイント VP：フクロジョイント ACP：エースジョイント</p>	<p>撤去作業の前にかから始め断水作業をおこなうこと。 ① 分水栓の接続継手を取外す。 ② 分水栓を配水本管から取外しする。 ③ 配水本管管種にあわせた継手を取付ける。 (左図参照) 撤去作業が終了したらあらかじめ断水作業をおこなうこと。</p>
<p>改設</p>		<p>配水本管管種：使用材料 CIP、DIP：DIP 1.0m VP、ACP：VP 1.0m</p> <p>配水本管管種：使用材料 CIP、DIP：継輪 (K型)、押輪 VP：CVSジョイント ACP：VA ジョイント</p>	<p>撤去作業の前にかから始め断水作業をおこなうこと。 ① T字管類の接続継手を取外す。 ② 配水本管を切断後、取外しする。(この際に配水本管からの水を排水すること) ③ 配水本管管種にあわせた継手を取付ける。 (左図参照) ④ 表示テープを貼りつける。(左図参照) 撤去作業が終了したらあらかじめ断水作業をおこなうこと。</p>

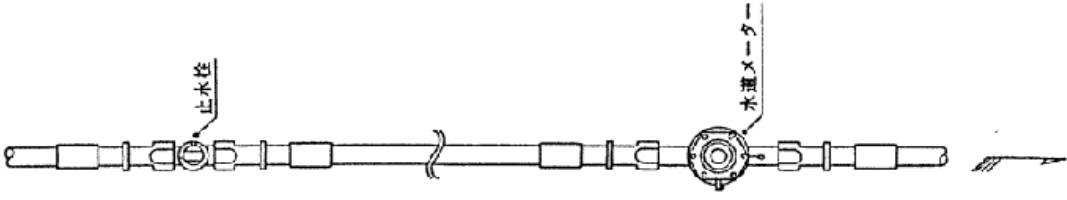
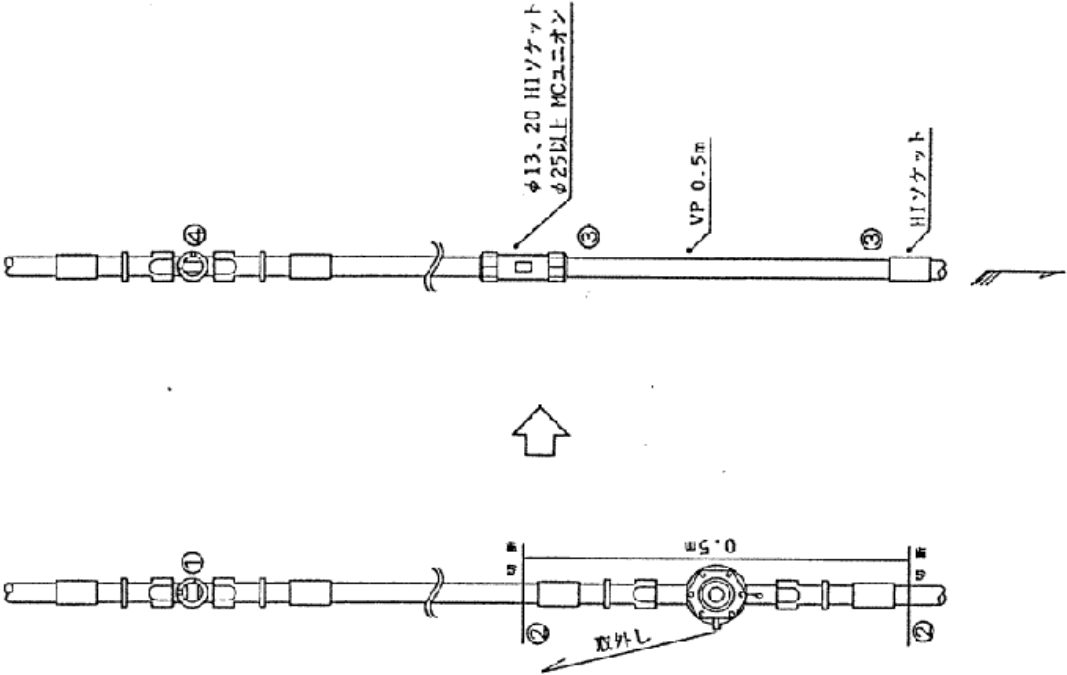
注) 上記の作業をおこなう前に監督員と協議すること。

撤去前	撤去後	作業手順
<p>既設管分岐部撤去 (Aを撤去する場合)</p> 		<ol style="list-style-type: none"> ① 止水栓を閉栓する。 ② 分岐箇所を切断後、取外しする。(左図参照) ③ ↓ 13、↓ 20の場合 ③-1参照 ↓ 25以上の場合 ③-2参照 ③-1 VP 0.5m、HIソケット2個を取付ける。 ③-2 VP 0.5m、MCユニオン、HIソケット取付ける。 ④ 止水栓を開栓する。

撤去前	撤去後	作業手順
		<p>① 止水栓を閉栓する。 ② 分岐箇所を切断後、取外しする。(左図参照) ③ ↓ 13、↓ 20の場合 ③-1参照 ↓ 25以上の場合 ③-2参照 ③-1 VP 0.5m、HIソケット、TSベンドを取付ける。 ③-2 VP 0.5m、MCユニオン、TSベンドを取付ける。 ④ 止水栓を開栓する。</p>

既設管分岐部撤去 (止水栓を閉栓)

撤去前	撤去後	作業手順
<p>止水栓撤去 (管布設置に伴う)</p> 		<ol style="list-style-type: none"> ① 圧着機で管を圧着する。(圧着箇所の付近に継手類が無いことを確認しておくこと) (左図参照) ② 止水栓付近の管を切断後、取外しする。(④をおこなう前に④で使用するMCユニオンをあらかじめ入れておくこと) ③ φ13、φ20の場合 ③-1参照 φ25以上の場合 ③-2参照 ③-1 VP 0.5m、HIソケット2個を取付ける。 ③-2 VP 0.5m、MCユニオン、HIソケット取付ける。 ④ 圧着機を取外し、圧着箇所にMCユニオンを取付ける。 <p>圧着機の使用は給水管口径50以下とする。</p>

撤去前	撤去後	作業手順
<p>水道メーター撤去(管布設置後)</p> 		<ol style="list-style-type: none"> ① 止水栓を開栓する。 ② 水道メーター付近の管を切断後、取外しする。(左図参照) ③ ↓13、φ20の場合 ③-1参照 ↓25以上の場合 ③-2参照 ③-1 VP 0.5m、HIソケット2個を取付ける。 ③-2 VP 0.5m、MCユニオン、HIソケット取付ける。 ④ 止水栓を開栓する。

